



2025年5月15日
第716号

1部10円(組合員は組合費に含む)
郵便振替00960-7-117274

発行 大阪教育合同労働組合
Education Workers and Amalgamated Union Osaka(EWA)
発行人 高田 晴美
連絡先 大阪市中央区北浜東1-17 8F

Tel (06)4793-0633 Fax(06)4793-0644 E-mail: info@ewaosaka.org http://www.ewaosaka.org

第96回中之島メーデー 労働者の国際連帯で平和と豊かな生活を!

5月1日、第96回メーデーが
剣先ひろばで400名超えの参
加者を集めて開催されました。
今年は、全労協が中心となっ
て、国際色を出していこう、
易しい言葉でまとめていこう
と企画を考えました。

新しい試みとして、音声だ
けでしたが、日東電工とたた
かうオプティカルハイテック
労組の現地の様子、争議の進
捗状況の報告を韓国からの中
継で行いました。デモのコー
ルに一部英語が入りました。

争議アピールは、数を絞っ
て、その内容を深められるも
のにしよう全労協からは、



今、一番苦しいたたかいを強
いられているケアワーカーズ
ユニオンにアピールを託すこ
とにしました。この間、不当
で心のない攻撃に対して、府
労委へ訴え、団交を行い、デ
モで地域の方に実態を伝えま
した。できることは全てやろ
うという姿勢は、たたかう労
働者をリードしてきました。
ついに活動の拠点の訪問介護
ステーションの閉鎖となって
しまいましたが、利用者さん
への思いは、経営者のそれと
は雲泥の差を感じました。

全港湾、全日建と熱い争議
アピールが続きました。

先が見えない世の中で、人々
の不安につけ込み「悪いのは
外国から来た人たちだ」と分
断と対立をあおる政治家が増
えています。これはいつか来
た道、繰り返してはいけませ
ん。奴らが狙う分断と対立に
乗らず、私たちは全ての
働くなかまと手を取り合い、団
結と連帯で



本当の敵とたたかい、世界の
なかまとよりよい社会を作り
22世紀のまだ見ぬなかまへた
たかいをつなげましよう酒
井書記長

がメーデー
アピール
を読み上
げ、メー
デーを締
めくり
ました。

その後、
3つの団
に別れ、
梅田まで
のデモを
貫徹させました。これからの
たたかいが熱くなることを予
想してか、まだ春なのに汗ば
みました。



市原由美子(副執行委員長)

いのち輝いてる?? 万博開幕1ヶ月

大阪・関西万博が開幕して
1ヶ月ほどが経過しました。
69億円にも達する機運醸成費
の「効果」により、街中には
赤・青を基調としたポスター
があふれ、テレビで放映され
ない日はありません。万博開
催の問題点は多々ありますが、
学校現場では早々と遠足等
での強制的な参加が始まっ
ています。

こんなに複雑な遠足はいや だ

学校団体割引券として販売
された入場券は万博公式HPに
よると約6万7千枚(2025.5)。
大阪府は子ども招待事業とし
て4歳から高校生に対して約
102万枚を配布するとしてい

ます。一方、学校単位で参加
しない、府外の学校に通う児
童・生徒が対象となる子ども
招待一日券は約22万枚が販売。
おそらく、これからこの数字
は逆転していくことになりそ
うです。そもそも、この入場
券の入手方法が非常に複雑で
あることは既に多くの方が指
摘していることです。学校単
位の場合は、すべて旅行社を
通じて申し込むことになりま
すが、それでもどの入場券を
どの児童・生徒に配布したの
かなどの管理は学校が行うこ
とになります。当日欠席した
児童・生徒への入場券の再発
行を希望する対応も学校です。
これらのことが記載された旅
行社が提供する引率マニユア

ルは100頁超にも及び、通常
の学校遠足では考えられない
重装備です。

東京オリンピックと同じ水 増し

学校単位と言っても、小学
校や高校まで幅広い層の児童・
生徒によってその対応は異な
ります。現地集合・解散とは
いかない小中学校の教員の引
率にかかる負担は大変なもの
です。学校現場では負担を軽
減し、教育効果を高めるため
少人数で取り組む活動が進め
られるなか、今回の学校単位
の動員は、明らかな入場者数
の水増し行為です。

酒井さとえ(書記長)

新執行部

前号でお知らせした新執行部案
内の一部が抜けていました。再掲
します

- 執行委員長 高田晴美 (門真守口)
- 副執行委員長 市原由美子 (夕陽丘)
- 書記長 酒井さとえ(高校)
- 書記次長 山口昌孝(大阪)
- 執行委員 岡本洋之(睦学園)
- 執行委員 田辺岸代(大阪)
- 執行委員 藁田智洋(ウィザス)
- 執行委員 大石小百合(堺)
- 執行委員 横田真樹(高校)
- 会計監査 齋藤郁夫(吹田)
- 会計監査 平野良男(大阪)
- 会計監査 田中浩昭(高校)

春闘総行動 労働者の権利を守るたたかいを展開

4月16日おおさかユニオンネットワークによる春闘総行動を決起。労使関係のルールを守らない大和鋼業(株)を皮切りに抗議行動6ヵ所貫徹。総勢最大時100名超え。教育合同からは6名が参加しました。長期にわたり、団交に応じず、組合が社前でサイレントスタンディングを行うと自宅待機命令。その後、処分通知書を連発し、組合員を解雇した(株)ワールドリンク。この会社に対しては、総行動後も毎週、抗議デモを行っています。

総行動対象常連になってきた社会保険労務士法人奏



パートナーズ。パワハラ問題の解決をみないまま、裁判では会社が勝利。裁判で勝っても争議は終わりません。



次は、大阪駅2Fグランフロント連絡橋へ。韓国の子会社の工場火災で多額の保険金を得たにもかかわらず、従業員全員解雇。別工場での就労を求めた組合員に対して敵対攻撃をかける親会社日東電工。世界に羽ばたく企業と



して恥ずかしくない行動を取っていただきたいです。

山紀会。訪問介護事業所の閉鎖、支部役員の賃金切り下げを強行しています。事業所の閉鎖理由を赤字としていますが、法人自体の資産は65億円もあるそうです。(全労協5月号より)事業を展開してきた地域をいとも簡単に切り捨てる姿は、労働者だけの問題ではなく、地域で暮らす弱い立場の人に対しての社会的責任の放棄です。利用者さんも困っているだろうと容易に判断できます。

最後はベルデさかい。公益通報者に対し、自宅待機、退職勧奨後、1名解雇、2名不当配転。やりたい放題です。

労働者の権利を守るたたかいは残念ですが続きそうです。

高田晴美(執行委員長)



当面の日程

- 5月24日(土)13:30 エル南館1023
「今は戦争前夜なのか」
講師:海渡双葉弁護士
- 5月31日(土) 第37回定期大会
- 6月8日(日)13:00うつぼ公園
「もうやめようあぶない原発!」
大集会inおおさか 14:30 デモあり
- 6月18日(水)18:30 エル501号室
「労基研報告を学ぼう」 主催
講師:友弘克幸弁護士 大阪全労協

文化おちこち(277)

馬に憧れて

2. 馬が合う

乗馬は、馬と、その乗り手の呼吸や息がピタリと合うことで、「人馬一体」となり馬の美しさが引き立つ動きになります。乗馬では、馬と乗り手の意を合わす必要があります。

昔の慣用句に「馬が合う」という言葉があります。この慣用句には、「意気投合する」「性格や気が、合う」という意味があります。まさに乗馬のことを言っているのです。馬と乗り手の息が、ぴったり合っていることを、人間同士にも当てはめ、「馬が合う」と言うようになったのが言葉の由来のようです。

私は、子供時代に馬に憧れ、馬に乗ってみたいと思っていました。馬にはいろいろな性格があります。不思議なことに、相性が良くて、私の思っ

ている動きをしてくれるなど安心できる馬がいます。逆に、この馬とは、どうしても仲良く乗れないな、私の思っている動きをしないな、反抗するな、苦手だなという馬もいます。

馬は動物の中でも唯一、人間を乗せて走ってくれます。「馬が合う」馬に乗ると楽しい思いをしますが、「馬が合わない」馬に乗ると、怖い思いをすることもあります。暴れ馬、ジャジャ馬とも言いますね。

この絵のモデルの馬は、「馬が合う」馬でした。名前を宇治金時くんと言います。とても大人しく賢いお馬さんです。賢者のような賢さあふれる内面を顔の表情で表現しました。(sayuri)



第37回定期大会に参加を!

5月31日(土)14時から(開場は13時半)エルおおさか、5F視聴覚室を全体会会場として、第37回定期大会が行われます。今年度も全体会のあとに分科会が行われます。

分科会のテーマは、①私学無償化を考えるⅡ②働きやすい学校③英語話者の分科会の3つになります。

昨年度もとあげた私学無償化は大阪のみならず全国に拡大されることになりました。改めて、この問題が教育現場にもたらす影響について語り合います。

公立学校を中心とした教員欠員問題が明らかになるなか、政府は「働かせ放題」と指摘されている教職調整額を段階

的に引き上げることで問題の解消をはかろうとしています。無法状態の労働現場に屋上屋を架すようでは、とても働きやすい学校には近づきそうもありません。今大会では、働きやすい学校とはどのようなものなのか、組合員のみさんの意見を広く募ります。

言わずもがなではありますが、定期大会は組合の活動方針を決定する重要な機会です。全組合員の積極的な参加を求めます。(執行部)



第36回定期大会の様子

毎日新聞に先日死亡のアーミテージ元米 국무副長官へのコラム記事▼4月26日(土)は専門編集委員の伊藤智永による「同盟深化うっせえわ」▼安倍氏による集団的自衛権行使可能の憲法解釈変更と

「台湾有事は日本有事」発言で自衛隊を「即応戦力」に▼翌日(日)の「時代の嵐」で中林美恵子早大教授は、ア氏は実務家で実務者を育成した功績を讃える▼この「実務者」とは伊藤氏のいう「ジャパン・ハンドラー」=「日本専門調教師」ことか。